

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		主要地方道天津植木線バイパス建設促進期成会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	上原哲也				
	施策	5	道路ネットワークの充実			所属課	建設課	担当者名	中村房昭				
	基本事業	13	計画的な道路の整備			所属班	管理計画班	(内線)	2272				
予算科目	会計	1	款	8	項	1	目	1	事業連番	10067	法令根拠	成果優先度評価結果	11
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)		コスト削減優先度評価結果	6						

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	主要地方道天津植木線と国道387号が交差する辻久保周辺(栄～野々島)の渋滞解消と産業流通の促進に向けて新たにバイパスを建設し、安全、安心、迅速性を確保する。(事務局:合志市) 平成11年度に旧合志町・西合志町議員の会合の席で、辻久保地区渋滞解消のためのバイパス建設を期成会を作って県へ要望していこう、という申し入れから、旧2町で期成会が設立された。 19年度で県事業としてのバイパス建設が決定され地元説明会、測量が開始された。事業期間は概ね10年間とされているが地域の実情と合併支援道路としての機能向上をはかるため早期の完成が待たれる。また、本事業の実施に伴い現道の歩行者対策を本市に一任されているため調査を行い最善策を見出すことが必要である。
【業務の流れ】	合併を期に、この県道沿線の地元区長及び終点側の植木町にも期成会に加入いただいて行政・議会・住民と一体になって事業主体である県へ要望を実施している。19年11月にバイパスのルートが決定され、12月には本事業に関する地元説明会が実施されており、20年1月から事業開始している。今後は事業の早期完成に向けた要望活動と地元既存道の歩行者対策を進める。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金として、負担している。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	現道の渋滞解消はバイパスが完成しないと解決しない。また、歩道が設置されていない部分があり早急に対処してもらいたいという要望が寄せられている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・総会を開催しました。 ・県に要望をしました。 ・負担金の支払いをしました。	・総会の開催 ・県への要望 ・負担金の支払い
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
⇒ ア 総会への出席 回	⇒ イ 要望活動 回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
県道天津植木線	⇒ ア 県への要望回数 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	
バイパス建設の早期完成	
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 バイパスの早期完成に向け、財源の確保等を引き続き県へ要望を行っていく。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	
	イ	回	1	1	1	1	1	1	
⑤ 対象指標	ア	線	1	1	1	1	1	1	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	回	1	1	1	1	1		
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	200	100	100	100	0	100
	(A) 事業費計	千円	200	100	100	100	0	100	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	174	174	174	240	174	174	
	(B)人件費計	千円	691	696	693	955	693	693	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	891	796	793	1,055	693	793	0

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

0

0

事務事業名	主要地方道大津植木線バイパス建設促進期成会運営事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	---------------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>△</td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	△	低下	△	
				コスト													
		削減	維持	増加													
成果	向上		○	△													
	低下	△		△													

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策